

## 仕様

### 対応OS

- **Windows**  
**Intel x86 (32bit)**  
Windows 98 / 98 SE / ME / NT 4.0 SP6a / 2000 SP4 / XP SP2, SP3 / Server 2003 SP2 / SBS 2003 SP2 / Storage Server 2003 SP2 / Vista SP1, SP2 / Server 2008 SP1, SP2 / Storage Server 2008 SP1, SP2 / Home Server / 7 SP1 / Server 2008 R2 SP1  
**Intel x64 / AMD64 (64 bit)**  
Windows XP x64 SP2, SP3 / Server 2003 x64 SP2 / Storage Server 2003 x64 SP2 / Vista SP1, SP2 / Server 2008 SP1, SP2 / Storage Server 2008 SP1, SP2 / SBS 2008 SP1, SP2 / EBS 2008 SP1, SP2 / Hyper-V Server 2008 / 7 SP1 / Server 2008 R2 SP1
- **Linux**  
**Intel x86 (32bit), Intel x64 / AMD64 (64 bit), PowerPC (32 bit), ARM legacy ABI / EABI (32 bit), MIPS Little Endian (32 bit)**  
Linux Kernel 2.4 / 2.6
- **FreeBSD (VPN Serverのみ)**  
**Intel x86 (32bit), Intel x64 / AMD64 (64 bit)**  
FreeBSD 5.x / 6.x / 7.x / 8.x
- **Solaris (VPN Serverのみ)**  
**Intel x86 (32bit), Intel x64 / AMD64 (64 bit), SPARC (32 / 64 bit)**  
Solaris 8 / 9 / 10
- **Mac OS X (VPN Serverのみ)**  
**Intel x86 (32bit), Intel x64 / AMD64 (64 bit)**  
Mac OS X Tiger (10.4) / Leopard (10.5) / Snow Leopard (10.6)  
**PowerPC (32 bit), PowerPC G5 (64 bit)**  
Mac OS X Tiger (10.4) / Leopard (10.5) / Snow Leopard (10.6)

### アプライアンス ※VPN Server または、VPN Bridgeが利用可能です

#### ● 小規模向けモデル - Standard Edition

ハードウェア型番	OBS600/RAP
CPU	AMCC PowerPC 405EX 600MHz
メインメモリ	1GB (DDR2 SDRAM)
FlashROM (NOR)	128MB
ストレージ	なし(ラムディスク動作)
ネットワーク	1000Base-T × 2ポート
OS	SSD/Linux 0.5
消費電力	約8W
動作時許容周辺温度	0-55°C (CF, ACアダプタ含む)*

\* 1000Base-Tで利用の場合は、0-50°C

#### ● 中規模向けモデル - Professional Edition

ハードウェア型番	TR1A-1/B
CPU	DualCore Atom D510(1.66GHz)
メインメモリ	2GB (DDR2-SODIMM)
ストレージ	8GB フラッシュディスク
ネットワーク	1000Base-T × 2ポート
OS	CentOS 5.4 (64bit) ※その他はご相談ください。
消費電力	最大消費電力 44.83W アイドル時消費電力 32.41W

#### ● 大規模向けモデル - Enterprise Edition

ハードウェア型番	TRQX-1/34SA
CPU	QuadCore Xeon X3440 2.53GHz
メインメモリ	4GB (DDR3-SDRAM)
ストレージ	8GB フラッシュディスク
ネットワーク	1000BASE-T × 2
OS	CentOS 5.4 (64bit) ※その他はご相談ください。
消費電力	最大消費電力 222.86W アイドル時消費電力 76.34W

## お問い合わせ

法人のお客様  
お問い合わせ窓口

営業部

Tel 03-5213-4370

Fax 03-3221-3766  
sales@plathome.co.jp

購入後の  
お問い合わせ窓口

カスタマーケア

Tel 03-5213-4372

Fax 03-3221-0882  
support@plathome.co.jp

オンラインストア

ぶらっとオンライン

http://online.plathome.co.jp  
biz@plathome.co.jp  
Tel 03-5213-4380  
Fax 03-3221-2580

代 表

管理部

Tel 03-3221-3200  
Fax 03-3221-3733

本カタログに記載の商品については、当社営業部もしくはオンラインストアにてご購入・ご相談いただけます。上記までお気軽にお問い合わせください。

記載の価格は全て2011年12月現在のものであり、変更される場合があります。最新の価格についてはお問い合わせ下さい。

記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

製品の仕様・外観は、予告なく変更される場合があります。

取扱店印

# Plat' Home

www.plathome.co.jp

ぶらっとホーム株式会社

〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-1-3  
日本ビルディング九段別館 3F

どんな環境でも容易に導入可能なVPNソフトウェア 2011.12

TECHNOLOGY to serve you.

# PacketIX VPN 3.0

# Plat' Home

どんな環境でも容易に導入可能 柔軟性の高いL2-VPNプラットフォーム

# PacketiX VPN 3.0 シリーズ

## ライセンス

### Standard Edition

参考価格 99,750円(税込)  
型番 PX3-STD-SUB1Y  
ライセンス + サブスクリプション(1年)

既存サーバーへの組み込み等、導入コストを必要最小限に抑えたい場合に最適な、ソフトウェアライセンスでのご提供です。



### サブスクリプションについて

1年間または3年間のサブスクリプション契約が製品ライセンスに標準で含まれています(延長可能)。サブスクリプション契約に加入することで、テクニカルサポートやセキュリティパッチおよび不具合修正、新機能の無償提供、次期バージョンリリースの際の無償バージョンアップ等が提供されます。

## アプライアンス

### 小規模向け - Standard Edition

参考価格 180,600円(税込)~  
ライセンス + サブスクリプション(1年)  
1年保証モデル

ハードウェア: OpenBlockS 600

同時接続数 30



### 中規模向け - Professional Edition

参考価格 321,300円(税込)~  
ライセンス + サブスクリプション(1年)  
1年保証モデル

ハードウェア: Trus TR1A-1U/B

同時接続数 100



### 大規模向け - Enterprise Edition

参考価格 897,750円(税込)~  
ライセンス + サブスクリプション(1年)  
1年保証モデル

ハードウェア: Trus TRQX-1/34SA

同時接続数 300



PacketiX VPN アプライアンスの詳細はWebをご覧ください。

<http://www.plathome.co.jp/agency/packetix/vpn/appliance/>

## 概要

### PacketiX VPN とは

PacketiX (パケティクス) VPN は、SSL-VPNの持つネットワーク透過性とIPSec-VPNの持つ柔軟性を併せ持つ、新しいVPN技術です。インターネット (WEB) が閲覧可能であれば、どんな環境でもVPNを確立することが可能です。他のVPNソリューションで必要となる、ルーター・ファイアウォール等への特別な設定の追加や既存のネットワークの再設計、使用アプリケーションの再開発を一切必要とせず、容易かつ柔軟にVPNを導入できます。

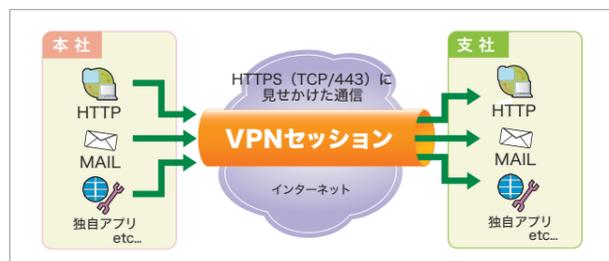
### 大幅な性能強化「PacketiX VPN 3.0」

PacketiX VPN 3.0は、前バージョン2.0発表後4年間の研究成果を凝縮した、大幅なメジャーバージョンアップとなるソフトウェアです。新たに IPv6 への対応、通信スループットの向上、遅延の減少、暗号強度の強化、タグ VLAN 対応等の新機能を有し、Windows 7 / Server 2008 R2 等の対応 OS の強化を行いました。IPv6 については、VPN 内部のIPv6 通信をサポートしたほか、物理的なネットワーク上において IPv6 のみで VPN 接続を行うことも可能になっており、2.0 ユーザーの方はもちろん、新規ユーザーにとっても魅力的なソフトウェアに仕上がっています。

## 特長

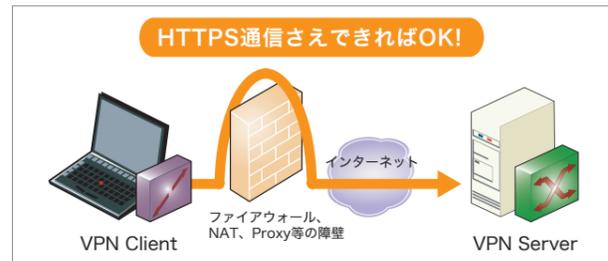
### どんなアプリケーションでも利用可能

利用できるアプリケーションに制限がありません。IPを用いる通信にとどまらず、NetBIOSやAppleTalkなどEthernet上で動作するようなプロトコルでも利用できます。



### 環境を選ばない接続性

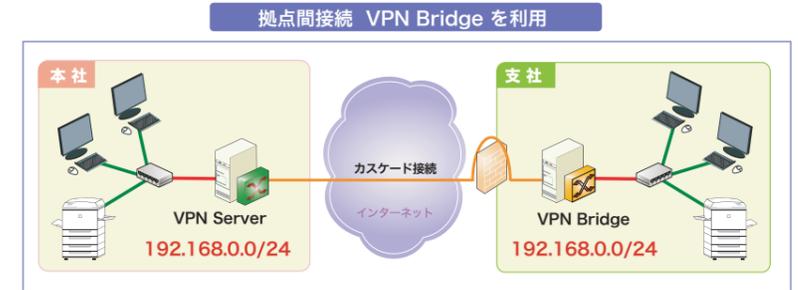
HTTPS(TCP/443)通信が可能な環境であれば、NATやHTTP Proxyに依存せず、特別な設定なくVPNの確立が可能です。接続用のTCPポートはHTTPS以外にも自由に追加・変更することが可能です。



## あらゆる構成のネットワークを柔軟に構築可能

### ■拠点間接続

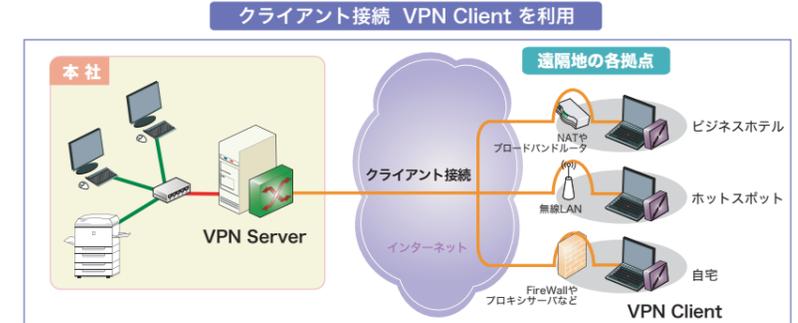
レイヤ2ネットワークを仮想化するため、離れた拠点であっても同一スイッチングHUBの配下に接続しているかのように通信できます。ネットワーク全体のIP設計やルーティングの変更に必要な専門知識を必要とせず、手軽に拠点間を結ぶことが可能です。また、大規模な環境では、IPルーティングを用いた高度なVPN 構築を行うことも可能です。(詳細は、P.4「仮想レイヤ3スイッチ」を参照ください)



VPN Bridgeの配下の端末は、ソフトウェアの追加なしでも、ネットワーク全体がVPNに参加します。

### ■クライアント接続

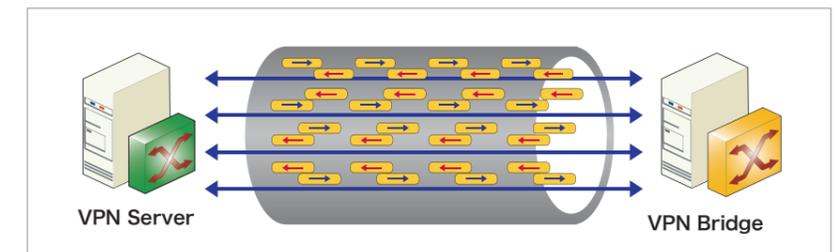
あらゆる環境でVPNの確立が可能なPacketiX VPN は、外出先から会社の情報へのアクセスにくわえ、ネットワーク全体をVPNに参加させる必要がないような小規模な拠点からのVPN通信にも最適です。



VPN Clientは、PC単体をVPNに参加させるときに使用します。

## 高い安定性と通信効率

VPNセッションの内部は、複数のTCP/IPコネクションにより構成されています。低通信回線品質によりコネクションの一部の切断が発生したとしてもVPNセッションそのものを維持し、安定した通信を実現します。また、多量のトラフィックが発生する場合には、コネクションを分散し通信の効率化を行います。



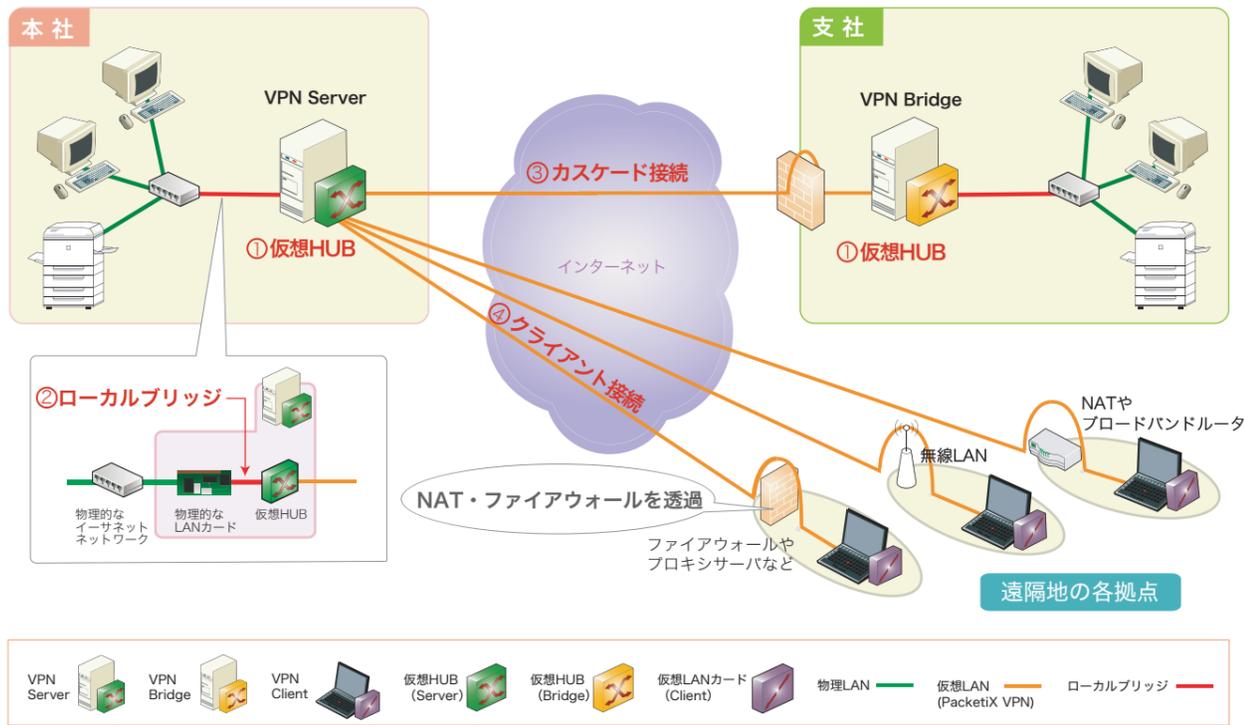
VPNセッションは、1~32本のTCP/IPコネクションを束ねて実現することができます。

## 他のVPN技術との比較

	広域イーサ	IP-VPN	インターネットVPN
通信インフラ	キャリア閉域網	キャリア閉域網	インターネット
回線コスト	高い	高い	安い
通信レイヤ	L2	L3	下記区分による
接続形態	拠点間のみ	拠点間のみ	下記区分による
ネットワークセグメント	同一 / 個別	同一 / 個別	下記区分による

	VPN技術	PacketiX VPN	IPSec-VPN	SSL-VPN	PPTP
トンネリング	トンネリングプロトコル	SSLv3(TCP) HTTPS 互換	ISAKMP / ESP	SSLv3(TCP) HTTPS 互換	PPP over GRE
	既存環境からの影響	なし	NAT / Firewall / HTTP Proxy 等による通信の遮断	なし	NAT / Firewall / HTTP Proxy 等による通信の遮断
通信	接続性	◎	×	◎	×
	カプセル化レイヤ	L2 / L3	L3	L5	L3
ネットワーク	通信プロトコル	IPv4, IPv6, TCP, SMTP, CIFS等 イーサネットでも扱えるもの	TCP, UDP 等のIP上で扱えるもの	HTTPの他、製品毎に対応しているもの	TCP, UDP 等のIP上で扱えるもの
	アプリケーション対応	◎	○	×	○
柔軟性	拠点間接続	可能	可能	×	可能
	ネットワークセグメント	同一 / 個別	個別	概念なし	個別
		◎	△	-	△

本社・支社・遠隔地の各拠点の全てノードが、同一のレイヤ2ネットワークに接続されます。



①仮想HUB

VPNに参加する全ての機器は、仮想HUBに接続されます。用途別に複数の仮想HUBを用い、それぞれユーザー認証、アクセス制御等を提供します。

②ローカルブリッジ

OA機器やネットワーク接続型の特別な機器、またはネットワーク全体をVPNに参加させる際に使用します。ローカルブリッジで接続されたネットワーク上の機器は、VPN Clientソフトウェアを導入する必要なくVPNに参加する事が可能です。

③カスケード接続

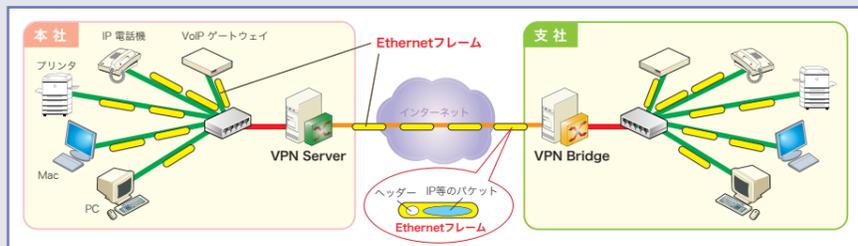
カスケード接続は、仮想HUB同士を接続するための機能です。ローカルブリッジによってローカルネットワークと接続された仮想HUB同士をカスケード接続することで、拠点間をVPNで結ぶことができます。

④クライアント接続

カスケード接続がネットワーク全体をVPNに参加させるのに対して、クライアント接続ではVPN Clientが提供する仮想LANカードを用いてPC単体と仮想HUBとをVPNで結びます。

レイヤ2 VPNであることのメリット

レイヤ2 VPN(L2-VPN)は、利用できるプロトコルに制限が無く、かつIPルーティングが不要なため、現在の設定は変更せず、既存インフラ上に簡単にVPNの構築が可能です。従来方式におけるIPSec-VPNではレイヤ3に属するIPv4パケットをカプセル化しますが、L2-VPNはEthernetフレーム(レイヤ2)をカプセル化します。L2-VPNは、Ethernetフレームをカプセル化し配送するため、レイヤ3に属するIPv4以外のIPv6やNetBEUI等のプロトコルでの通信を実現します。また全てのノードが同一のネットワークにレイヤ2で接続した状態となるため、IPルーティングの設定を伴うネットワーク環境の再構築を必要とせず導入することが可能です。

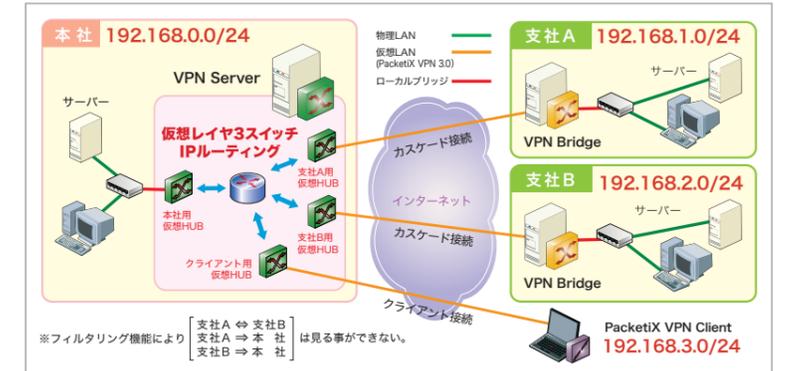


OSI参照モデル 各層の一例

レイヤ7	HTTP・SMTP・FTP・Telnet
レイヤ6	SMTP・FTP・Telnet
レイヤ5	NetBIOS・PAP・NWLink
レイヤ4	TCP・UDP・NetBEUI・SPX
レイヤ3	IPv4・IPv6・ICMP・NetBEUI・IPX
レイヤ2	Ethernet・PPP・フレームリレー
レイヤ1	ハブ・UTP・光ケーブル・無線

仮想レイヤ3スイッチ

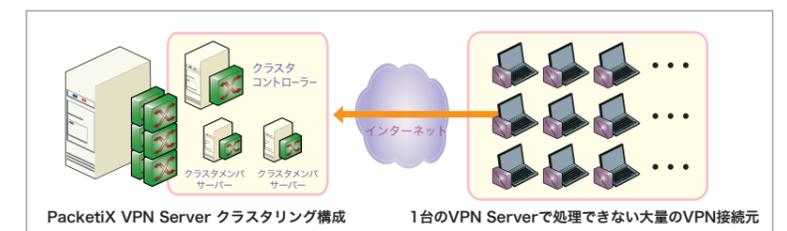
仮想レイヤ3スイッチは、独立したレイヤ2ネットワークである仮想HUB同士をIPルーティングによって接続します。仮想レイヤ3スイッチに登録した仮想HUBには、それぞれ仮想的なインターフェイスが割り当てられ、他の仮想HUBへのゲートウェイとして動作します。また仮想HUB毎に設定可能なアクセスリスト機能(パケットフィルタリング)を併用することで、拠点や端末個別のアクセス制限も可能です。複数の拠点がある大規模なVPNや用途別・権限別に仮想HUBを分けたいネットワーク等で、柔軟なネットワーク設計を行うことが可能です。



※仮想レイヤ3スイッチを使用した場合、通信可能なプロトコルはIPv4をベースとしたレイヤ4以上のものに限られます

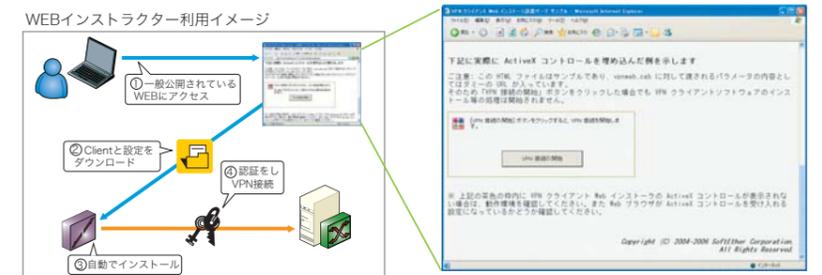
クラスタ ※Standard Editionでは使用できません

同時接続が1,000を超える大規模環境において、ロードバランシングによる並列処理により高い通信スループットを実現します。またクラスタ内のメンバーサーバーが停止しても、自動的に他のサーバーに処理を引き継ぎサービスを継続します。



簡易インストーラ・WEBインストーラ作成キット

多数のVPN Clientを利用する環境において、各エンドユーザー端末への導入・設定を行う手間を軽減するための機能を提供します。管理者は、共通の内容を記録した設定ファイルを用意し、WEBサーバーやファイルサーバー上にアップロードするだけで準備が完了します。エンドユーザーは、指定されたWEBアドレスから、1Clickで、インストールの実行から初期設定までが完了します。



ワンストップでスピーディに運用できるアプライアンス製品 - Standard Edition 3つのメリット

PacketiXアプライアンスは、PacketiX VPN 3.0をワンストップでスピーディに運用できるアプライアンス製品シリーズです。中でも、小型・堅牢・低消費電力を誇る小型サーバーOpenBlockS 600をハードウェアとしたStandard Editionには「CFレス」「冗長化対応」「Syslog転送機能」の3つの大きな特長があります。拠点間などの小規模なVPN環境を簡単・堅牢に構築することができます。

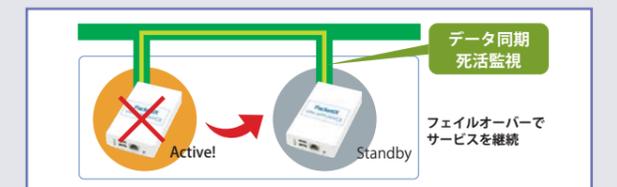
CFレス・RAMディスク動作による堅牢性

OpenBlockS 600では通常ストレージとしてCF(Compact Flash)を利用していました。今回、このCFを排除し、全ての機能を本体FlashROMに格納するファームウェアに含めたことにより、CFレス・RAMディスク動作による、より堅牢性の高い運用が可能になっています。



冗長化 (HA) 機能による可用性の向上

オペレーションミスのような予期せぬ停止やファームウェアアップデート等のメンテナンスにおける、やむを得ぬ停止に備えて冗長化 (HA) 機能を搭載しています。本製品の冗長化は、ルータ等で広く使われているVRRP(Virtual Router Redundancy Protocol)に加えて、設定及びログファイルの同期機能を実装することで実現しています。稼働・待機の時計2台構成でシステムを構築することができ、切り替わり際にはメールによる通知が可能です。



Syslog転送機能 (アプライアンスの独自機能)

PacketiX VPNのStandard Editionで無効になっているSyslog転送機能に代わるものとして、本製品独自にログファイルの内容をSyslogサーバーに転送する機能を搭載しています。

# PacketiX VPN 3.0 の主な新機能

## IPv6

### ● IPv6 ネットワーク上でのVPN通信に対応

VPN通信スタック (物理的なネットワークを流れる実際の TCP/IP の通信) を IPv6 に完全対応しました。これにより、IPv6アドレスで接続したインターネット等のネットワーク上で、IPv4 (正確にはEthernet) を仮想化することが可能になりました。



### ● VPNを通るIPv6パケットに完全対応

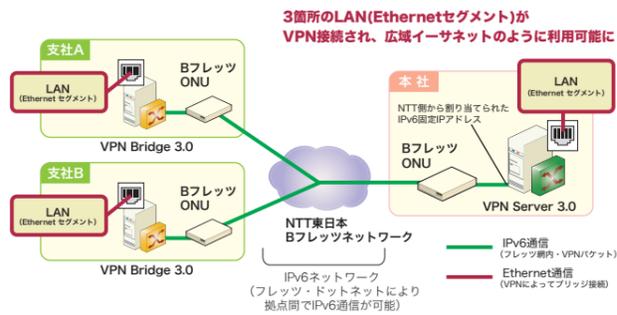
仮想HUB上の流れるパケットを、中身不明のEthernetフレームとしてではなく、IPv6パケットとして認識できるようになりました。これにより、リアルタイムにIPv6パケットを解析し、セキュリティポリシーやアクセスリストによる制限を適用することが可能になりました。



### ● Bフレッツ網を利用して、ISPを介さない高効率のVPNが可能

NTT東日本が提供する「Bフレッツ」と「フレッツ・ドットネット」を組み合わせる事により、ONUに接続した端末にはIPv6アドレスが割り当てられ、複数の拠点間をISPを通さずにダイレクトに接続することが可能になります。このIPv6ネットワークの上に、VPNを構築することで余分な迂回が発生せず、高効率のVPN通信が実現出来ます。

※ 2010年6月現在「フレッツ光ネクスト」では利用できません



## タグ VLAN

### ● タグVLAN (IEEE802.1Q) 透過対応

仮想HUB内でのMACアドレステーブルの構築・検索や、物理LANカードとのローカルブリッジ機能がタグVLANに対応しました。この対応により、1つの仮想HUBの中で複数のVLANを構成することが可能になり、大規模な拠点間接続においても利用が容易になりました。



### ● ユーザーやグループへのVLAN IDの付加に対応

ユーザーやグループに対して行うセキュリティポリシーの中で、VLAN IDの設定が可能になりました。VLAN IDが指定されたユーザーがVPN通信を行う際は自動的にVLANタグの付与・除去が行われます。



## セキュリティ

### ● 証明書の暗号化強度を最大4,096ビットに強化

サーバー認証やユーザー認証に利用する証明書は、従来は鍵長が1,024ビットに制限されていましたが、最大4,096ビットまでの強度を選択することが可能になりました。

### ● アクセスリストの強化

MACアドレスやTCPステートによるフィルタが可能になり、より柔軟で確実なトラフィックコントロールが可能になりました。

### ● TLS1.0への対応

従来はSSL 3.0を用いて通信を行っていましたが、今日ではSSL 3.0を元に改良されたTLS 1.0 が標準的に利用されており、一部のプロキシやファイアウォールではTLSでの通信を前提としたものも出てきています。PacketiX VPN 3.0では、このような環境下においても、安定した通信を行うことが可能です。

## OS対応強化

### ● 64 bit システムへの対応強化

PacketiX VPN 3.0では、特別な高価な追加料金を支払うことなく、通常版のライセンスのみで 64 bit 版を利用することができます。

### ● Windows、Linux、Solaris の他、FreeBSD でもローカルブリッジが利用可能に

これまでローカルブリッジ機能 (仮想 HUB と物理的な LAN カードとを接続する機能) は Windows, Linux および Solaris でのみ利用可能でしたが、PacketiX VPN 3.0 では新たに FreeBSD でもローカルブリッジ機能が完全に利用可能になりました。

### ● Windows 7 / Windows Server 2008 R2 に正式対応

Windows 7 および Windows Server 2008 R2 に正式に対応しました。Windows 7 / Windows Server 2008 R2 の新機能である「JumpList」(ジャンプリスト) にも対応しました。

このほかにも多数の新機能・機能強化があります。詳細はWebをご覧ください。  
<http://www.plathome.co.jp/agency/packetix/>

# 販売形態

## 参考価格

### ● PacketiX VPN 3.0 ソフトウェアライセンス

ラインナップ	同時接続数		ライセンス価格 ※2	
	クライアント接続	カスケード接続	サブスクリプション1年	サブスクリプション3年
Standard Edition	30	1	99,750円(税込)	164,587円(税込)
Professional Edition	100	3	157,500円(税込)	259,875円(税込)
Enterprise Edition	300	9	630,000円(税込)	1,039,500円(税込)
Ultimate Edition ※1	無制限	無制限	個別見積	個別見積

※1 事前にヒアリングさせて頂く、用途・接続数・規模に応じてお見積もり致します。ヒアリング内容に追加があった場合は、内容に応じて追加のお見積もりを致します。  
 ※2 ライセンスには、1年間または3年間の初回サブスクリプション契約が標準で含まれています。

### ● 追加接続ライセンス ※3

ラインナップ	追加ライセンス数		ライセンス価格
	追加クライアント接続数	追加カスケード接続数	
追加クライアント接続ライセンス	1	-	12,600円(税込)
	10	-	100,800円(税込)
	100	-	756,000円(税込)
追加拠点間接続ライセンス	-	1	157,500円(税込)
	-	10	1,260,000円(税込)

※3 追加接続ライセンスは、すでに PacketiX VPN Server 3.0 Home Edition / Small Business Edition / Standard Edition / Professional Edition / Enterprise Edition の製品ライセンスをお持ちのお客様か、または、それらの製品ライセンスを同時にご購入のお客様にご利用いただけます。単体ではご購入いただけません。

### ● PacketiX VPN アプライアンスシリーズ ※4, 5

1年保証モデルラインナップ	サーバー用	ブリッジ用	追加拠点間接続ライセンス付き ※6	ソフトウェアライセンス無し
Standard Edition	180,600円(税込)	238,350円(税込)		80,850円(税込)
Professional Edition	321,300円(税込)	321,300円(税込)		163,800円(税込)
Enterprise Edition	897,750円(税込)	425,250円(税込)		267,750円(税込)

3年保証モデルラインナップ	サーバー用	ブリッジ用	追加拠点間接続ライセンス付き ※6	ソフトウェアライセンス無し	HAパッケージ ※7
Standard Edition	250,950円(税込)	243,600円(税込)		86,100円(税込)	501,900円(税込)
Professional Edition	434,700円(税込)	331,800円(税込)		174,300円(税込)	-
Enterprise Edition	1,314,600円(税込)	432,600円(税込)		275,100円(税込)	-

※4 アプライアンスでPacketiX VPN 3.0 Ultimate Editionの利用をご希望の場合は、別途ご相談となります。  
 ※5 アプライアンス製品各ラインナップにおける1年ないし3年の「保証」とは、具体的に次のふたつのサービスを指します。  
 ① ハードウェアのセンドバック保証  
 ② ソフトウェアライセンスのサブスクリプション (ソフトウェアライセンス無しのモデルを除く)

※6 このモデルには追加拠点間接続ライセンスが一つ含まれています。ご購入頂くことで、既にお持ちのPacketiX VPN 3.0(Standard/Professional/Enterprise/Ultimate)ライセンスの拠点接続可能数がひとつ増加致します。  
 ※7 Standard Edition サーバ用 ×2のセットになります。既にPacketiX VPN アプライアンス Standard Editionをご利用で、HA化をご希望のお客様は、別途Standard Edition サーバ用をご購入ください。またパッケージ商品はStandard Edition 3年保証モデルのみのご用意となります。1年保証・他EditionでのHA化をご希望のお客様は、お手数ですが個別でのご購入をお願い致します。

## サブスクリプション契約

弊社は、お客様に対して、「サブスクリプション」サービスを提供します。ライセンスには、1年間または3年間の初回のサブスクリプション契約が標準で含まれています。標準のサブスクリプション契約が満了した後、継続を希望される場合は、1年または3年ごとにサブスクリプション契約を更新することができます。

### ● サブスクリプション契約のサービス内容

1. セキュリティパッチの無償提供 (2 営業日以内)
  2. 不具合の修正又は新機能の無償提供
  3. 無償のメジャーバージョンアップ
  4. 弊社からサポートを受ける権利
  5. 弊社が十分なサポートを提供しない場合に、ソフトイーサ株式会社にサポートを要求する権利
  6. ソフトイーサ株式会社による個別カスタマイズサービス (内容により無償・有償を検討します) その他詳細はWebをご覧ください。
- [http://www.plathome.co.jp/agency/packetix/vpn/3\\_0/subscription.html](http://www.plathome.co.jp/agency/packetix/vpn/3_0/subscription.html)

# 注意事項

### ● PacketiX VPN2.0 との接続互換性について

PacketiX VPN 3.0は、旧バージョン2.0との接続互換性があり、次の組み合わせでの接続が可能です。  
 ・ 3.0 VPN Server + 2.0 VPN Bridge / Client  
 ・ 2.0 VPN Server + 3.0 VPN Bridge / Client  
 ただし使用可能な機能は、2.0 での対応範囲に限られます。3.0同士の組み合わせが同時に混在している場合は、その組み合わせに限り新機能も含めて利用可能です。

### ● Standard Edition の機能制限

- |               |                     |
|---------------|---------------------|
| 次の機能は利用できません  | その他制限               |
| ・ Radius 認証機能 | ・ 登録可能なユーザーIDは30個まで |
| ・ NT ドメイン認証機能 |                     |
| ・ syslog 転送機能 |                     |
| ・ パケットログ保存機能  |                     |
| ・ クラスタリング機能   |                     |